

日本鐵鋼協會記事

電氣製鋼研究會

第1小委員會 (座談會)

昭和16年11月24日(月)自午後1時至午後6時

會場 麴町區霞ヶ關 法曹會館

出席者(次第不順)(委員會幹事)神谷基夫君 野田 浩君代理楠 正武君 藤原唯義君 高橋哲四郎君(第1小委員會委員)牛尾眞三君 高田安雄君 吉村英文君 今泉貫治君代理稻垣豐吉君 高良 淳君代理上木正三君 田宮利彦君代理田川一郎君(工場代表)東北金屬 跡部公任君,日鐵八幡 池田 正君,川崎製鐵 落合 勇君,大同製鋼 小野左右吉君 不二越鋼材 大沼太吉君代理奧田清人君,住友製鋼 紀 俊郎君,特殊製鋼 湖上舉行君,日本鋼管電氣製鐵 笹部誠君代理石垣喜八郎君,東北特殊鋼 齋藤茂治君,日立安來 多賀谷正雄君 日本特殊鋼 高橋 巖君,神戸製鋼 長野英明君,日本鋼管川崎 根守 侃君,三菱長崎製鋼 宮崎又七君 住友鋼管 吉田友彦君,東京芝浦電機 正木寛三郎君,村上透君,山田正三君,中平信男君,山口 博君

議題 (1) 爐の容量 主なる製品 爐の壽命 (2) 爐材配合(粒度) (3) 結合劑 (4) 築爐法 (5) 乾燥法 (6) 焼付法 (7) 銀砂の規格 (8) マグネシヤクリンガーの規格

討議資料

(1) 各工場より蒐集したる資料總括表 幹事 神谷基夫君
(2) 高周波電氣爐ライニングに就て

神戸製鋼所 長野英明君

(3) 同上 東北特殊鋼 齋藤茂治君

(4) 鹽基性 2,000 瓦高周波誘導電氣爐の操業に就て

川崎製鐵 落合 勇君

第1小委員會 (第28次)

昭和16年11月25日(火)自午前9時30分至正午

本會事務所

出席者 幹事 神谷基夫君 野田 浩君代理楠 正武君
委員 堀切政康君 吉村英文君 石川 等君代理渡邊安藏君 今泉貫治君代理稻垣豐吉君 田宮利彦君代理田川一郎君 主事 金谷三松

議事

- (1) 爐頂裝入式電氣弧光爐標準に關する件
- (2) 高周波電氣爐標準に關する件
- (3) 耐火物に關する件

第2小委員會 (第14次)

昭和16年11月8日(土)自午後2時至午後6時

本會事務所

出席者 幹事 松山寛慈君代理岩本行雄君 武井 武君 藤原唯義君
委員 稻津健介君 岡 憲市君代理矢作太郎君 宇留野四平君代理菊地 元君 落合 勇君 日下和治君代理龜岡勇治君 淺野 輝君 廣瀬政次君(今永仙太郎君同伴) 茂木吉治君 主事 金谷三松

特別出席者 久城修一郎君(陸軍兵器本部)

議事

(1) 製鋼原鐵に關する件 (2) 屑鐵規格に關する件等

第3小委員會 (第12次)

昭和16年11月22日(土)自午前9時至午後5時

本會事務所

出席者 幹事 石原善雄君 松山寛慈君代理岩本行雄君 武井武君

委員 大垣梅雄君 野崎 榮君 小島豐榮君 大澤隆三君 石川 薫君代理中城忠彦君 山本辰夫君

高橋隆君代理多賀谷正雄君 笹部 誠君代理石垣喜八郎君 神邊武雄君代理小野左右吉君 田

村勝人君代理鈴木 昇君 藪内周三郎君代理吉

木 卓君 荒木 彬君代理菅田角夫君

主事 金谷三松

議事 (1) 造塊法第 I - XII 項迄審議

(2) 現在生産され居る原鐵の使用成績調査の件

第4小委員會 (第6次)

昭和16年11月27日(木)自午後5時至午後8時30分

本會事務所

出席者 幹事 吉川晴十君 高橋哲四郎君

委員 林田恒雄君 銅金義一君代理岡部長衡君 齋藤

彌平君 正親見一君 依 信次君 篠原 登君

鹽澤正一君

議事 電氣爐用術語の件

大日本窯業協會聯合「トリベ」用耐火物規格研究會 (第5次)

日 時 昭和16年11月1日(土)自午後1時30分至午後4時30分

場 所 京橋區銀座西4丁目5 銀座尚館 窯業協會々議室

出席者 (鐵鋼協會側)

河村 曉君 井村竹市君 松下長久君代理郷 義二郎君

堀江 實君

(窯業協會側)

黒田泰造君 高田安雄君 稻垣賢吉君 若林 滋君 毛

利定男君

(商工省) 矢内信太郎君

協議事項

- (1) 豫て鐵鋼協會を介し蒐集せる資料に據り規格案を作製し再び鐵鋼協會を介し需要者側の意見を確むること。
- (2) 湯導煉瓦は各工場の事情を參酌し別箇に検討のこと。

機械學會聯合自動車用鐵鋼材研究會

日 時 昭和16年11月1日(土)自午後1時至午後8時30分

場 所 丸ノ内帝國鐵道協會々館

出席者 (鐵鋼協會側)

依 國一君 吉川晴十君 山田良之助君 石田四郎君

池田正二君 依 信次君 齋藤彌平君 三島徳七君代理

三橋鐵太郎君

(機械學會側其他)

56名出席

總計

64名出席

協議事項 代用鋼に就て

理事會 (昭和16年度第9回)

日時 昭和16年11月12日(水)午後5時開會午後7時30分閉會

出席者 會長渡邊三郎 理事井村竹市 石田四郎 田中清治 前會長河村 駿 常務委員池田正二 石原善雄 志村繁隆 主事金谷三松

協議事項

1. 明春開催の第27回通常總會の期日及び見學場所の件次の如く豫定す。

- 4月3日(金・祭)第15回製鋼部會第5回電氣製鋼研究會
- 4月4日(土)第27回講演大會(第1日)第27回通常總會 晚餐會
- 4月5日(日)第27回講演大會(第2日)製鐵製鋼參考品展覽會(第1日)
- 4月6日(月)見學 製鐵製鋼參考品展覽會(第2日)
- 4月7日(火)製鐵製鋼參考品展覽會(第3日), 終了,

2. 入退會者及び會員異動の件

會員異動總計表(10月1日~31日)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數				+9	+41	+50
退會者數				-1		-1
死亡者數					-1	-1
轉格者數				+1	-1	
10月末現在會員數	13	57	24	2,365	2,490	4,949
轉格者(准會員より正會員へ)氏名	郷原 隆之輔君					
退會者氏名	正會員 宇津 巖君					

准會員 鶴 榮次君 昭和16年9月21日
 逝去せられたり哀悼に堪へず、茲に謹みて弔意を表す。

報告事項

- 1. 昭和16年度9, 10月分收支報告
- 2. 第25回研究部會第14回製鋼部會製鋼用原料(平爐)研究會(第2次)出席者數
- 3. 第26回講演大會出席者數
- 4. 電氣製鋼研究會第1小委員會(第27次)及び第3小委員會(第11次)報告
- 5. 大日本窯業協會聯合「トリベ」用耐火物規格研究會(第5次)報告
- 6. 機械學會聯合自動車用鐵鋼材研究會報告
(以上前月號會誌に掲記しあるを以て略す)。

編輯委員會 (昭和16年度第8回)

日時 昭和16年11月19日(水)自午後5時至午後7時30分

出席者 理事 鹽澤正一君 編輯委員 池田正二君、石原善雄君 石川 薫君 俵 信次君 齋藤彌平君 志村清次郎君 前田六郎君 主事 金谷三松

協議事項

- 1. 會誌第28年第1號上掲論說の選定
- 2. 會誌第12號上掲抄録, 翻譯の選定
- 3. 會誌第28年第1-號上掲抄録原稿分擔委嘱
- 4. 第27回總會及第27回講演大會の件

イ. 講演者募集の件

ロ. 製鐵製鋼參考品展覽會開催の件

明春4月5, 6, 7日の3日間芝區濱松町海岸通東京府工業獎勵館にて實施のこととし, 具體案は次回編輯委員會にて立案のこと。

理事會 (昭和16年度第10回)

日時 昭和16年12月2日(火)午後5時開會午後7時30分閉會

出席者 副會長吉川晴十 理事 石田四郎 田中清治 鹽澤正一 前會長河村 駿 水谷叔彦 常務委員 池田正二 志村 繁隆 主事 金谷三松

協議事項

- 1. 服部, 香村及び渡邊賞牌は當分「アルミニウム」にて製作のこと。
- 2. 第27回講演大會の際開催すべき展覽會の名稱は「製鐵製鋼參考品展覽會」と決定し、之に陳列すべき大體品目及び豫算流用の用途を協議し詳細は次回開催の編輯委員會立案に委することとなる。
- 3. 本會推薦の帝國海事協會技術委員會委員左記三氏12月を以て3箇年の任期満ちたるを以て同協會の依頼に由り更めて次の三君に御願ひすることとなつた。

今回満期の方

佐々木新太郎君 齋藤大吉君 吉川晴十君

新に委嘱の方

渡邊三郎君 吉川晴十君 鹽澤正一君

4. 昭和16年度第5回月例講演會は左記の通り實行のことに決定

日時 昭和16年12月15日(月)自午後6時30分

場所 麴町區霞ヶ關 法曹會館

講演

(1) 鋼の電解研磨に就て

東京工業大學精密機械研究所

工學士 田中 實君

(2) 電子顯微鏡に就て

電氣試驗所(逓信省)

工學博士 鈴木 重夫君

5. 入退會者及び會員異動の件

會員異動總計表(11月1日~30日)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數				+15	+38	+53
退會者數				-2	-1	-3
死亡者數				-1		-1
轉格者數				+1	-1	
11月末現在會員數	13	57	24	2,378	2,526	4,998
退會者	正會員 阿久津國作君 谷口久一君					
准會員	桑山貞次郎君					

正會員 工學博士 山口達次君 昭和 16 年 11 月 5 日
逝去せられたり哀悼に堪へず、茲に謹みて弔意を表す。

報告事項

1. 編輯委員會(昭和 16 年度第 8 回)
2. 電氣製鋼研究會 第 1 小委員會(座談會)
第 1 小委員會(第 28 次) 第 2 小委員會(第 14 次) 第 3 小委員會(第 12 次) 第 4 小委員會(第 6 次)
3. 日本鑄物協會聯合鋼鑄物研究會
第 1, 第 3 小委員會(第 1 次)

前記の通り

日本鐵鋼協會第 26 回講演大會見學記事

A班 三菱鑄業研究所 埼玉縣大宮市北袋

省線與野驛の北方約半キロ、松林を背景とし、附近一帯今尙武藏野の面影を存する閑靜なる地に在り。秋晴の好日和に恵まれた見學者約 60 名は午前 9 時同所 2 階休憩室に集合、取締役兼研究所長蒔田三雄氏の挨拶あり、これに對し見學者一同に代り田中清治委員謝辭を述べ、終つて見學者を數班に分ち、所長以下數名の案内員に導かれ所内を見學す。珍しい鑄物標本、稀金屬元素、鐵合金類、ステライト、超硬質合金、メリデイア、カドミウムハンダ、アルミニウムハンダ、人造石油等其の他多數の標本を見る。又基礎的研究室、選鑄研究室其の他の研究室を參觀し、人造石油、アルコール類合成の半工業的研究室等を約 2 時間に互に見學し、一同同所の好意を感謝しつゝ午前 11 時終了す。

本所の開設は昭和 13 年 4 月なり。

B班 東京帝國大學 工學部附屬綜合試驗所 本郷區本富士町
本試験所の見學に續きて風洞及び船舶用試験水槽の參觀が許された。

C班 東京帝國大學 航空研究所 目黒區駒場

D班 理化學研究所 本郷區駒込上富士前町

午前 9 時本館 4 階講堂に參集。見學者約 60 名、案内係星野氏より理化學研究所の沿革、理研興業會社設立の主旨より延いて最近合併設立せられたる理研工業の経緯に關し約 2 時間に亘る説明あり。

午前 11 時 20 分より 2 班に分れ見學に移る。工作係、宇宙線の研究室、光彈性學研究室、合成酒の研究室の順序に案内を受け、最後に陳列室にて各種科學研究の成果である生成品の説明を聞き全部終了を見るは午後 0 時 50 分なり。

E班 鐵道大臣官房研究所 芝區海岸通

こゝは大臣官房研究所の第 1 課から第 5 課迄あり多數の研究室を擁してゐ、見學は 5 班に別れて 8 時 40 分開始、0 時 20 分終

了。懇切なる御説明に一同満足して解散した。見學の印象に残るものを拾ひ上げると、材料關係では、軌條とタイヤの磨耗、疲勞試験と發熱、軌條の探傷(こゝでは本會編輯委員橋本技師が鈴木式探傷車等に就て詳細なる説明の勞を執られた)カーボン刷毛の耐衝擊試験、鐵筋コンクリート棒の強度試験、セメントの強度と人工硬化、ゴムの強度と老化試験、潤滑油の效力試験、石炭の熱量と粘結性、全國汽罐用水腐蝕性の調査研究、アルミニウムケーブル、保温材(鋼纖維の熱絶縁力は極めて大であること、鐵兜の太陽熱遮蔽方法等興あり)、ガソリンのオクタン價試験、碍子、豆炭の研究、石炭質類透過先線顯微鏡試験(プレパラート製作技術と其苦心談を聴く)、等の研究室あり其他音響と防音装置に關する研究室及び特別高壓電氣試験(人工雷による碍子の絶縁性)室等はその設備の立派さに目を驚かした。

F班 東京工業大學精密機械研究所 目黒區大岡山

G班 早稲田大學鑄物研究所 淀橋區戸塚町

午前 9 時集合 見學者約 40 名 同所會根主事の挨拶に次で瀧澤所員より

研究所は本館(4 階建)945 坪、別に 400 坪の加工工場建設中。本館は物理、化學關係の基礎的研究を、實習場は専ら鑄物の製造研究を行ふこととなしあり。又別に工員養成をなしつつあり。等研究所の概要に關し説明あり。後 2 班に分れ所内を見學す。午前 10 時終了。尙隨意に同大學附屬演劇博物館、甘泉園等の參觀を許されたり。

H班 日本鋼管株式會社技術研究所 川崎市渡田

秋日和の好天氣に恵まれた見學者は午前 8 時 30 分頃よりポツポツ參集す。着順 15 人毎に 1 班として案内を附し次の順序に見學が始められた。

見學順路

1. 附屬工場 熱處理、鍛造工場—高周波電氣爐—旋盤工場—粉碎室—選鑄試驗場—耐火物試驗場
2. 電氣爐工場 エル—型電氣爐
3. 分析室 燃料分析室—鐵鋼分析室—炭素分析室—合金分析室—天秤室—耐火材分析室—鑄石分析室
4. 本館—一階 顯微鏡室—熔解試驗室—磁氣試驗室—熱試驗室—熱處理室—耐火物試驗室—材料試驗室
5. —二階 副産物試驗室—分光分析 X 線試驗室—鐵鋼介在物試驗室—砂鐵試驗室—鋼中瓦斯分析室—塗料試驗室—腐蝕試驗室
6. —三階 圖書室—屋上—休憩室(三階會議室)

全部帶なく觀覽を終へたのは午前 11 時であつた。巡覽を終ると 3 階の會議室で手厚き御餐應のあつたことは感謝に耐へない。池田委員から見學者一同に代つて鄭重な謝辭があり當日の見學を終了した。

新入會者(自 10 月 1 日至 10 月 31 日)

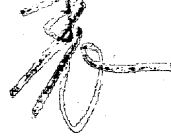
居所又は宛名先	職業及び勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者氏名
浦田區御園 2 の 11 の 3	亞細亞特殊鋼會社	正	山形 將 明君	行方畝三郎・金谷 三松
戸畑市小澤見町 1	逓信省艦船局	〃	水野 駿君	田川淺次郎・〃
岐阜市元町 5 の 7 黒野方	川崎航空機工業會社岐阜工場検査部	〃	田中 哲 雄君	金谷 三松・村松橋太郎

居 所 又 は 宛 名 先	職 業 及 び 勤 務 先	會 員 別	入 會 者 氏 名	紹 介 者 氏 名
大阪府日生町 大阪窯業耐火煉瓦會社 日生工場		正	川 名 重 雄 君	金谷 三松・村松橘太郎
神奈川縣逗子町櫻山 1,704 鈴木方 門司市	横須賀海軍航空技術廠	"	松 原 啓 次 君	佐藤 忠雄・金谷 三松
滿洲國鞍山市北三條町 青葉寮	昭和製鋼所研究所	"	淺野セメント會社門司 工場	嘉村 平八・ "
八幡市黒崎紅梅町 3 丁目	橋本工業事務所	"	大 和 一 君	藤田守太郎・ "
王子區王子 2 の 14 の 1	理礦工業會社	"	橋 本 亨 君	金谷 三松・村松橘太郎
大連市甘井子椒房屯 824 大華積善寮	大華鑛業會社	准	新 井 周 二 君	安川玲次郎・小平 俊雄
大連市甘井子 大華鑛業會社々宅5の4號	"	"	上 島 基 之 君	萩 原 三 平
大連市甘井子 大華鑛業會社	"	"	金 田 政 明 君	"
大連市甘井子 大華鑛業會社々宅4の9號	大華鑛業會社	"	吉 廣 正 男 君	"
大連市甘井子椒房屯 大華社宅 3の3 號	大華鑛業會社	"	工 廣 斌 君	"
大連市甘井子 大華鑛業會社	"	"	桑 原 巖 君	"
小倉市 小倉陸軍造兵廠技術幹部候補生 合同教育所	"	"	矢 島 守 陳 君	"
神戸市兵庫區大開通 6 の 230 番屋敷	川崎重工業會社製鋼工 場	"	鈴 木 安 夫 君	谷 村 照
杉並區大宮前 6 の 347 福田方	東京帝大學生	"	岩 橋 榮 治 君	今 西 彰
大森區馬込町東 1 の 1,282	特殊製鋼會社	"	塚 本 富 士 夫 君	吉 川 晴 十 人
名古屋市熱田區澤上町 2 の 19 佐和加美 アパート	大同製鋼會社熱田工場	"	渡 邊 隼 人 君	渡 邊 政 夫
下谷區練堀町 74	日本特殊鋼會社	"	角 鐵 夫 君	林 達 夫
兵庫縣加古郡高砂町狩網 宮本方	播磨製造所第二工場	"	木 村 康 君	玉 置 正 一
仙臺市南六軒町 仙臺高工冶金學科	學生	"	井 上 芳 雄 君	保 田 正 次 造
神戸市灘區森俊町 2 の 66 甲神鋼寮	神戸製鋼所	"	中 島 孝 君	村 上 照 正
大阪府河内郡志紀村弓削 日滿社宅	日滿電氣製鋼會社	"	山 本 貞 樹 君	上 田 滿 幸
秋田市手形區大澤町 15	學 生	"	八 谷 濡 策 君	山 本 村 信
秋田市檜山區古川新町 62	學 生	"	李 士 敏 君	"
城東區南砂町 6 の 455 吾孺製鋼所砂町 工場	"	"	成 田 俊 雄 君	高 田 友 昭
藤澤市辻堂 關東特殊製鋼會社	"	"	筑 紫 俊 人 君	小 林 寅 一 七
大森區大森 3 の 98	東京芝浦電氣會社	"	鈴 木 正 義 君	武 原 清 照
仙臺市北四番町 31 島買方	學 生	"	前 元 涼 一 君	村 上 照 太 吉
富山市米田 不二越鋼材工業會社東岩瀬 工場	"	"	柿 田 和 夫 君	大 沼 瀨 三 松
澁谷區千駄ヶ谷 3 の 525	日本高周波重工業會社 北品川工場	"	片 桐 幸 吉 君	金 谷 池 浩 介
廣島市の場町 58	東洋工業會社	"	關 谷 甚 四 郎 君	菊 田 正 隆
大森區北千束 471	森岡ステンレス工業會 社	"	川 崎 茂 君	嶮 澤 正 隆
蒲田區萩中町 87	日本曹達會社大島製鋼 所	"	丹 羽 正 一 君	橋 口 梅 雄
荏原區平塚 6 の 214	東光電氣會社	"	市 川 前 君	"
東京府吉祥寺 2319	中央航空研究所	"	太 田 起 君	志 村 繁 隆
川崎市鹽濱町 8047 特殊製鋼會社川崎工 場	"	"	片 山 大 君	小 畑 菊 次 郎
川崎市鹽濱町 8047 特殊製鋼會社川崎工 場	"	"	立 石 智 務 君	飯 高 一 郎
蒲田區仲六郷町 2 の 3 の 3 遠藤方	特殊製鋼會社川崎工場	"	江 波 戶 好 君	"
山形縣西置賜村小國本村 日本電興會社 小國製造所	"	"	原 山 善 夫 君	"
大阪市此花區春日出町下 1 の 14	大阪製鐵造機會社	"	藤 村 恒 造 君	"
王子區岩淵町 2 ホワイトハウス	理研工業會社王子第一 工場	"	坂 本 紋 治 君	"
		"	星 野 和 夫 君	"

居所又は宛名先	職業及び勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者氏名
淀橋區百人町 陸軍技術本部第一研究所第四科		准	田 申 政 人君	吉 川 晴 十
江戸川區小松川 2 の 97	日本鑄鋼會社	"	本 橋 太 喜 衛君	日 本 鑄 鋼 會 社
大阪府泉北郡鳳町 鳳陽園	大阪プレス製作所	"	藤 井 修 三君	梅 澤 光 三 郎
鎌倉市大町辻 2,297	日本鋼管會社	"	吉 田 可 勝君	本 城 武
王子區稻付西町 3 の 50 大日方	早大鑄物研究所	"	石 田 二 郎君	岡 村 保 雄
旅順市札幌町 5 旅順工科大学冶金學教室		"	高 倉 正 義君	福 島 政 治

新 入 會 者 (自 11 月 1 日 至 11 月 30 日)

居所又は宛名先	職業及び勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者氏名
岐阜縣武儀郡關町甲 125 の 1	岐阜縣金屬試驗場	正	安 達 需君	金谷 三松・村松橋太郎
澁谷區代々木西原町 864	鐵鋼統制會	"	久 保 圭 之 助君	井村 竹市・山田 實
富山市寺 493	報國砂鐵製鍊會社富山工場	"	山 崎 寛 三君	依 國 一・宗宮 尙行
世田ヶ谷區玉川尾山町 33	鐵鋼統制會技術部副參事	"	吉 松 光君	井村 竹市・山田 實
中野區鷺ノ宮 1 の 120	工學士 理研金屬會社 東京鑄造所	"	石 原 禎 之 介君	志村 繁陸・一色 貞文
名古屋市南區道徳新町 1 の 56 牧野方	大同製鋼會社研究部	"	竹 本 專 一君	錦織 清治・清水 定吉
熊本市 熊本高等工業學校內		"	熊本高等工業學校報國團科學部冶金班	金谷 三松・村松橋太郎
堺市櫛屋町西 2 の 28	大阪製鋼會社	"	河 中 富 造君	川口 正雄・金谷 三松
明石市櫻町 1 の 1,145	日本砂鐵鋼業會社高砂工場	"	桑 原 廣君	上野建二郎・安福 理雄
金澤市泉野町レ 3 の 23	津田駒工業會社	"	上 野 武 男君	石 田 求・金谷 三松
朝鮮咸北城津邑 日本高周波重工業會社盛津工場	工學士	"	齋 藤 敏 信君	松 尾 徹
越岡市下厨川第五六地割中屋敷 不二越鐵業會社盛岡工場	工場長	"	村 井 三 郎 兵 衛君	金谷 三松・村松橋太郎
大連市榮町 35		"	大陸特殊工業會社	"
八幡市藤田裏町	八幡鑄造所	"	山 口 忍君	"
小石川區竹早町 108	倉林良輔商店廣畑工場	"	倉 林 良 雄君	"
名古屋市昭和區川名町 2 の 14	大同製鋼會社築地工場	准	石 黒 定 彦君	中 嶋 審 一
神戸市林田區池田村字半三郎 10 朋來莊	川崎重工業會社艦船工場	"	宍 戸 拓 也君	行 村 行 雄
京都市上京區寺町通鞍馬口下ル高德寺町 358 鈴鹿方	京都帝大學生	"	岡 村 志 郎君	森 田 志 郎
滿洲國新京特別市南嶺 新京工業大學冶金科	學 生	"	高 木 健 藏君	堀 内 深 志
京都市上京區小山板倉町 27 村川方	京都帝大學生	"	成 瀬 光 芳君	森 田 志 郎
川崎市觀音町 2 の 159	東京鐵工所研究所	"	莉 部 勝 太 郎君	岡 田 一 郎
西宮市今津曙町 106	古河電氣工業會社大阪伸銅所	"	町 野 忠 夫君	倉 内 積
栃木縣那須郡金谷村大字乙連澤	海軍航空技術廠	"	櫻 賢 之 助君	金 谷 三 松
滿洲國哈爾濱市南崗 哈爾濱工業大學學寮	學 生	"	飯 村 憲 之 君	森 棟 隆 弘
"	"	"	井 上 博君	"
"	"	"	李 慶 國君	"
"	"	"	林 成 春君	佐 藤 恒 義
"	"	"	王 希 烈君	森 棟 隆 弘
"	"	"	柳 元 義 男君	"
"	"	"	祁 寶 宗君	"
"	"	"	苗 德 權君	"



居 所 又 は 宛 名 先	職業及び勤務先	會員別	入 會 者 氏 名	紹 介 者 氏 名
横濱市鶴見區下末吉町 920	東亞精鐵會社横濱工場	准	谷 口 修 三君	關 口 俊 一
蒲田區新宿町 1,358	"	"	大 河 内 正 惠君	"
小石川區戸崎町 3 小高方	東京帝大學生	"	田 島 喜 久 雄君	吉 川 晴 十
長岡市袋町 3 丁目	北越水力電気會社藏王工場	"	開 發 不 二 男君	金 谷 三 松
福岡市箱崎相保町 1,402 青柳方	九州帝大學生	"	原 克 郎君	井 上 克 巳
八幡市祇園町 6 丁目	日鐵八幡製鐵所	"	中 山 義 正君	金 谷 三 松
福岡市向田町 62	九州帝大學生	"	小 田 芳 郎君	井 上 克 巳
福岡市馬場頭城南莊上通 山崎方	"	"	加 藤 毅君	"
富山縣新湊町 日本高周波重工業會社富山工場製鋼課	"	"	米 田 英 一君	茂 木 吉 治
足立區千住中居町 57	池貝鑄造所	"	篠 宮 信 義君	金 谷 三 松
朝鮮咸北城津邑 日本高周波社宅 220號	日本高周波重工業會社製鋼課	"	飯 田 増 吉君	益 田 義 三
大阪市此花區正岡町 1	日本曹達會社尼崎工場	"	辻 一 郎君	柳 田 小 太 郎
尼崎市昭和南通 9 の 264	尼崎製鋼所	"	杉 原 太 一 郎君	富 山 英 太 郎
戸畑市中原 日鐵社宅 117	日鐵八幡製鐵所戸畑作業所	"	佐 藤 哲 夫君	太 宰 三 郎
澁谷區向山町 32	日本鋼管會社扇町製鐵所	"	安 富 繁 雄君	松 島 喜 市 郎
小石川區大塚窪町 24	日本ピストンリング會社	"	大 庭 俊 一 郎君	飯 島 虎 雄
兵庫縣加古郡高砂町清水町 1,436	日本砂鐵鋼業會社高砂工場	"	熊 澤 猛 夫君	大 谷 一
大阪市大正區船町 3 丁目 中山製鋼所製鋼部	"	"	許 斐 篤君	増 田 作 美
小倉市許斐町 小倉製鋼會社製鋼部	"	"	山 庄 吾君	石 部 功
富山市西四十物町 51 春田方	報國砂鐵製鍊會社富山工場製鍊係	"	手 塚 裕 雄君	山 之 内 諄 博
大阪市西淀川區百島町 51 淀川製鋼所	"	"	石 井 松 太 郎君	稻 津 健 介
仙臺市小田原長丁通 日本金屬工業會社仙臺工場	"	"	堤 高 男君	金 谷 三 松

寄 贈 圖 書 紹 介

銑鐵共販業績編纂委員會編：本邦銑鐵統制販賣史

昭和 16 年 11 月 東京市麴町區三番町 1 第一書房刊行 A 列 5 番、793 頁 價 7 圓 銑鐵共同販賣株式會社は昭和 7 年 8 月創立より、昭和 13 年 7 月日滿鐵鋼販賣株式會社の創立の爲其業務を同社に譲渡する迄、猶其前身たる銑鐵共同組合の事業を通じて 13 年に亘り常に銑鐵需給の調節を第一義とし併せて生産、消費兩者の共存共榮と市價の安定を計り以て吾鐵鋼國策に貢獻し來れり、猶進んで營利資本主義の修正をも希望し吾國統制經濟實行に其先驅をなしたり、本史は其業績を傳へ併せて統制業務上の參考に資せんため編纂せられたるものである。讀者の興味盡きざるものあらん、編者よりの御寄贈を深く謝す。